

福井大学学術交流協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（3月分）

留学先大学：ホーチミン市外国語情報技術大学

氏名：佐藤 恵美

Xin chào!! こんにちは。旧正月が終わりホーチミン市内はいつもの街並みに戻りました。ここ数日最高気温が 30℃以上の日が続いていて暑いです。水分補給と紫外線対策が必須になっています。今回は HUFLIT での学生生活について述べたいと思います。

HUFLIT の正式名称は Ho Chi Minh City University of Foreign Language and Information Technology です。最初聞いたとき長いなと思いました(笑)。1992 年創立で、昨年 25 周年を迎えた私立大学です。ホーチミン市内に 3 つキャンパスがあり、全部で 8 つの学部があります。私は主に Su Ban Hanh 通りにあるキャンパスで勉強しています。学生はバイクで通学する人が多いので、キャンパス内にバイクの駐輪所があります。周辺にはコンビニやレストラン、15 分ほど歩いた距離には Van Hanh Mall というショッピングセンターがあり、大学周辺で食事や買い物をすることができます。大学内は毎日多くの学生で賑わっていて、エレベーター待ちの列はとても長いです。

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
Human Resources Management (9:30-12:00)	Vietnamese Language-Speaking- (10:20-12:20)	Accounting Principles (9:30-12:00)	Vietnamese Language-Writing-(9:30-11:30)	Public Relations (9:30-12:00)
	Labor Relations (2:30-4:00)	Vietnamese Language-Listening- (1:00-3:00)	Vietnamese Language-Grammar- (1:00-3:00)	Microeconomics (0:45-3:15)
	Vietnamese Language – Listening- (4:30-6:30)			

上の表のとおり、今学期は 5 つの授業とベトナム語の授業を履修しています。留学前にどの授業を履修するか決めていましたが、英語で開講されないと知り、改めて考



え直す必要がありました。全て英語で行われ、グループに分かれて、プレゼンテーションをしたりディスカッションをしたりします。時々先生がベトナム語で解説するので理解できないときがあります。時間は90分と150分あり、長い授業では途中で休憩時間があります。しかし、150分休憩なしの授業もあるので、集中力を保つのが大変です。ベトナム語の授業は日本語が話せるベトナム人の先生が教えてくれますが、生徒は私一人しかいないので、授業というより個人レッスンみたいです。最初の二週間は発音の練習をしました。ベトナム語は発音が多いので、その違いを区別するのは難しいと感じています。一対一で教えてもらえるので言葉を早く身につけることができると思います。

授業外の活動として、日本語クラブの活動に参加しました。その日は日本の関西学院大学からインターンシップに来た学生達と

HUFLITの学生との交流会で、たくさんの学生が参加していました。私は活動に参加するのは初めてだったので、多くのベトナム人学生と会うことができよかったです。

また別の日には、神戸国際大学の学生たちが一週間ホーチミン市内に滞在し、HUFLITの学生と交流

↑ 関西学院大学の学生達との交流会

して、そのお別れ会に参加しました。司会進行、挨拶、音響の役割など学生自ら行っていて、日本語で話していました。学生何人かは浴衣を着ていて、日本の踊りを披露していました。手の動きや足先など、細かいところにも気を使っていて、練習を頑張ったことが見られる素晴らしい踊りでした。



一学期15週ある授業がそろそろ中盤を迎え、3月下旬から4月にかけて中間試験があります。試験勉強をしっかりして受けたいと思います。また、4月下旬の平日に休日があります。行ってみたい国や地域はたくさんあるので、旅行を楽しみたいです。